

あきたの美術 2018 展の開催にあたり

秋田県のアートシーンを紹介する「あきたの美術展」は昭和 34 年に始まった「秋田県現代美術展」が前身で、今年で 60 回目の開催となります。様変わりした美術界に対応しながら、少しずつそのスタイルと名称を変えてきました。平成 24 年に「あきたの美術展」と改称し、現在に至っています。平成 27 年から、ゆるやかに部門、ジャンルを解体しながら、幅広くアーティスト、作品を丁寧に紹介するスタンスを模索しています。また推薦にあたってはアーティストの他に学芸員、教育者、ギャラリストといった客観的な視点をもった推薦者を登用しました。これにより現代アートシーンを見据えた、高い次元の展覧会の開催を目指しています。今年度は小田英之氏（現代美術部門、秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科教授教授）、山本文志（平面作品部門、美術史家・秋田県文化振興課）が注目する 12 名のアーティストたちをご紹介します。アトリオンに会する「あきたの美術」をぜひご覧ください。

平面作品部門

絵の中に見えるもの。

美術界は玉石混交、真の芸術家を見つけるのは難しい。習作はともかく、フェイク、イミテーション、エビゴネンが巷には溢れている。鑑定家、批評家の言説に戸惑うことがたまにある。評論に至ってもすべてが正しいわけではない。結局、判断は作品と対峙した時間に委ねられる。人は嘘をつくが、作品は嘘をつかない。そこには丸裸のアーティストが映っている。と、思っている。鑑定の眼は怪しいが、20 年余り学芸員の仕事をしていたら、彼らが作品に込めた思いを少しは感じられるようになったのかも知れない。印象深い作品は感覚的なイメージとなって、記憶に残っているものだ。その中から選出したアーティストを紹介したいと考えていた。機を得て、畏敬する洋画家 K 氏が協力してくれたので、私に欠けているものを補完し、あるいは既存のデータを修正することができた。アーティストと学芸員の視線が交錯し、選び出された 5 名。所属、世代を越えて秋田のアートシーンの多様性と可能性を見せてくれることだろう。

山本文志（平面作品部門推薦者・秋田県観光文化スポーツ部文化振興課）



須田明雄 SUDA, Akio

1946 秋田県八郎潟町生まれ
1959 秋田市立高等学校卒業
1961 義演デザイン研究所卒業。サイエンス・アート・プロダクション入社
1971 秋田に帰郷。
1972 大瀧建設に勤務他、建築業に身を置く。
2006 創作活動を始める。
2011 第 6 回丹波美術大賞展入選
2014 第 29 回国民文化祭・美術展入選
2015 第 81 回東光展入選
2016 第 82 回東光展入選
2017 第 81 回新作展入選



山岡美佐子 YAMAOKA, Misako

1977 秋田市生まれ
1995 秋田県立秋田高等学校卒業
1998 第 72 回展初入選
1999 秋田大学教育学部卒業
2001 秋田大学大学院教育学研究科修了
2006 第 80 回展新人賞
2007 第 81 回展新人賞 準会員推薦
2018 第 92 回展準会員優待賞 会員推薦



小川恒雄 OGAWA, Tsuneo

1959 秋田県横手市十文字生まれ
1978 秋田県立横手工業高等学校卒業
1983 大阪芸術大学美術学卒業
1986 第 6 回天理ビエンナーレ展道友社賞
1990 第 2 回アサカ賞展準大賞
1991 第 34 回安井賞展佳作賞
1996 小川恒雄展（アトリオン、彩画堂）
2003 アートフェア東京 2003（東京国際フォーラム）。2010、2011 にも出演。
2011 小川恒雄展 2011（角館町平福記念美術館）
現在、無所属。東京、大阪を中心に個展を多数開催。



ジョージ・ジャービス George Jarvis

1943 アメリカ・バージニア州生まれ
1961 ミネソタ州ミネアポリス市立ノースハイスクール卒業
1964 ミネソタ大学卒業（BA）※文学士
1970 ワシントン大学卒業（BFA）※美術学士
1973 クランブルック美術大学院修了（MFA）※美術学修士
1978 来日。南山大学留学生別科に在籍。
1979 秋田市に移転。
1984 秋田大学で美術教員免許を取得。
1990 第 22 回等遊会展奨励賞。会員推薦。後年、文部科学大臣賞など各賞受賞。
1991 秋田県美術作家協会会員
2013 AIAA 秋田国際美術家協会創立会員
2016 秋田県芸術文化庁
現在、CAA 米国大学美術学会、等遊会、秋田美術作家協会、秋田版画家会、Barenforum 木版画研究会、SSNW 版画研究会、AIAA 秋田国際美術家協会に所属。



伊藤隆 ITO, Takashi

1947 愛知県名古屋市生まれ
1966 名古屋市立桜台高等学校卒業
1972 愛知教育大学卒業
1975 東京藝術大学大学院美術研究科修了
1982 第 56 回展初入選
個展（資生堂ギャラリー 85.88.94 年開催）
1983 渡辺。スベインマドリッドにて制作（1984 年まで）
1985 第 59 回展入選。2006 年まで出品。
1986 弘前大学教育学部講師。その後、助教、教授に昇任。
2001 秋田大学教育文化学部教授（2013 年まで）
2006 平成 17 年度秋田県芸術選奨受賞



山本文志 YAMAMOTO, Takeshi

1961 秋田県北秋田市阿仁生まれ
1980 熊本県立八代高等学校卒業
1984 秋田大学教育学部卒業
1985 秋田県立花輪高校教諭
1994 秋田県立近代美術館学芸員。主に秋田版画、近代日本美術、近代写真などを調査研究。
2014 秋田県観光文化スポーツ部文化振興課副主幹。
主に「あきたの美術」展、秋田県若手アーティスト育成支援事業を担当。
2016 秋田県芸術文化庁
現在、秋田公立美術大学ビジュアルアーツ専攻助手



小田英之 ODA, Hideyuki

1956 京都市生まれ
1975 京都市立白ヶ丘高等学校卒業
1979 京都市立芸術大学美術学部西洋画科卒業
1986 HIDEYUKI ODA ONE MAN SHOW（ギャラリー イン スクエア）
1989 メタリズム（スパイラルガーデン）
1993 3D LOVE - 立体視への招待 -（東京写真美術館）
京都の美術 昨日・きょう・明日 13 小田英之・野村仁展 - 眼差しの向こう側（京都市美術館）
1996 Electra '96 - Project for Electronic Media（Henie-Onstad Art Centre）
2007 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士（後期）課程美術専攻単位取得退学
2014 文化庁メディア芸術祭秋田展 DIGOOAKITA（アトリオン）
2018 AR ファンダーランド「動き出す美術館」（せんだいメディアテーク）
現在、秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科教授（現代美術部門推薦者・賛助出品）



國政サトシ KUNIMASA, Satoshi

1986 大坂生まれ
2005 大阪府立阿倍野高等学校卒業
2010 京都精華大学デザイン科テキスタイルデザイン卒業
2012 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻染織修了
2016 京都府文化博物館
2017 「音かたつろ」展（鳥取県・若狭町工芸館）
2016 かみこあにプロジェクト 2017（秋田県小阿仁村）
2018 個展「外気」（京都・ギャラリー東風）
かみこあにプロジェクト 2018（秋田県小阿仁村）
現在、秋田公立美術大学ビジュアルアーツ専攻助手



萩原健一 HAGIHARA, Kenichi

1978 山形県寒河江市生まれ
1997 山形県立寒河江高等学校卒業
2004 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー修了
2005 文化庁新進芸術家国内研修生として山口情報芸術センターに在籍（-06）
2007 情報科学芸術大学院大学修了。ART AWARD TOKYO 2007 特別賞受賞。
scopic measure#6（山口情報芸術センター）
2008 文化庁メディア芸術祭（東京国立新美術館）
2009 A Blow to the EveryDay（香港）
文化庁メディア芸術祭地方巡回展（アトリオン他）
2013 Media/Art Kitchen（ジャカルタ、マニラ、クアラルンプール）
2014 文化庁海外メディア芸術祭参加事業企画展（ソウル）
国際情報科学芸術アカデミー（IAIAS）助教、東京芸術大学芸術情報センター非常勤講師、名古屋芸術大学非常勤講師、愛知淑徳大学創造表現学部講師を経て、2017 年より秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科教授。



illustration: 内田聖良

STEAM 研究室 二宮諒 NINOMIYA, Ryo

1986 岐阜県各務原市生まれ
2005 市立岐阜商業高等学校卒業
2009 中京大学情報理工学部情報メディア工学科卒業
2012 中京大学大学院修士課程修了
2014 情報科学芸術大学院大学修士課程修了
現在、秋田公立美術大学ビジュアルアーツ専攻助手。
アクチュエータによるハプティクスや画像処理技術など、デジタルメディアを用いた表現または開発等に取り組んでいる。

アデルジャン・イミティ Adiljan Yimit

1979 中国新疆ウイグル自治区生まれ
1998 中国新疆ウイグル自治区自治区ウルムチ市第 5 高校卒業
2004 中国新疆大学情報工程学院卒業
2013 岩手大学大学院修士後期課程修了
現在、秋田公立美術大学複合芸術研究科助手。
ロボットセンシング、画像処理、パターン認識などに関する研究開発に取り組んでいる。

飯倉宏治 IGURA, Koji

1969 愛知県豊橋市生まれ
1988 愛知県立豊橋東高等学校卒業
1992 豊橋技術科学大学工学部知識情報工学科卒業
1994 豊橋技術科学大学大学院工学研究科知識情報工学専攻修士前期課程修了
1996 Digital Entertainment Program'96 入賞
1997 Creator's Garage'97 PG 部門賞
1998 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミーアートアンドメディアラボ卒業
2015 静岡大学創造科学技術大学院修士後期課程修了
2017 日本リモートセンシング学会 平成 28 年度論文賞受賞
現在、秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科教授。
空撮画像の地図への重ね合わせ方法、並列処理対応スクリプト言語の研究および開発等に取り組んでいる。



阪口正太郎 SAKAGUCHI, Shotaro

1957 年 東京都大田区生まれ
1975 年 私立芝高等学校卒業
1980 年 慶應義塾大学工学部数理工学科卒業
1983 年 東京芸術大学美術学部視覚デザイン科卒業。株式会社電通に入社
1984 年 個展「untitled」（シロタ画廊）
2015 年 個展「tsukumo-gami」（リクイメイジングスクエア）
2015 年 個展「かくれてないで、でてきなさい」（エプソン epSITE ギャラリー）
2018 年 「あらか、こんなどころに」（富士フィルムフォトサロン東京）
デザインに関する受賞歴は東京 ADC 賞、カンヌ国際広告賞銅賞、ニューヨーク ADC 金賞、ニューヨークフェスティバル金賞、ロンドン国際広告賞、香港 HKDA AWARD 銅賞、世界ポスター・エンターテインメント・ヤマ金銀賞、クリオ賞銅賞、日経広告賞、朝日広告賞部門賞、毎日デザイン賞優秀賞、新聞広告賞グループ etc.
現在、秋田公立美術大学コミュニケーションデザイン専攻教授

現代美術部門

「美大がある」ことの意味

日本中いたるところに美術館がありますが、美術大学（芸術大学）は数えるほどしかありません。2013 年開学の秋田公立美術大学（以下秋美大）は昨年大学院修士課程を設置し、2019 年には博士課程も開設される予定です。地方の公立大学として地域との関係の中で何ができるのかということが常に問われる一方で、それ以前に秋田にとって、そこに「美大がある」ことに大きな意味があると考えています。

現代美術部門展示の依頼を受けた時に、その活動がまだ秋田であり知られていない秋美大教員スタッフのことがまず頭に浮かびました。私自身は 2017 年に県立美術館で作品を発表する機会を得ていますが、他の 4 組の出品者についてはほとんど紹介はなされていません。縁あって秋美大に集った教員スタッフの制作活動の一端を紹介することは、秋田の美術の多様性や可能性を広げることになると考えて展示プランを考えました。

萩原健一は映像を用いたメディアアートを得意とし、映像が持つ多様な情報に注目しながら、自身で完結するのではなく他の制作者や鑑賞者を巻き込みながら展開する形体の作品を制作してきました。國政サトシはテキスタイル出身ですが、染める、織るといった染織が持つ固有の属性を抽出するもの、その属性はクリップや結束バンドに置き換えられ、それらと秋田の廃材を構造物として空間を構成します。大手広告代理店のディレクターとして活躍してきた阪口正太郎は写真をベースにしたユーモアと洗練を併せ持つ作品を制作してきました。昨年大学に着任したばかりですがすでに新たな試みの兆しが現れています。今日のアート / デザインとデジタル技術の結びつきは強く、美術大学にもその波が押し寄せています。そういう状況の中で秋美大の情報工学系のスタッフから 3 名にグループとして制作を依頼しました。飯倉宏治とアデルジャン・イミティはデジタル画像の研究者でありソフトウェアエンジニアです。二宮諒はメディアアート系エンジニアであり、それぞれ、エンジニアとして作品制作に関わっていますが、自らコンテンツを制作する機会はありません。しかし彼らの活動は秋美大にも秋田にとっても重要であって、テクノロジーを通じた大学と地域との接続が期待される中で、その創造性にフォーカスした制作になります。今年の現代美術部門はこれらの作家の個展形式での展示となりますが、この地で作品制作や展示・発表することの意味や、「美大がある」ことの意味を改めて考えることができたらと思っています。

小田英之（現代美術部門推薦者・秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科教授）



推薦者、アーティストによる ギャラリートークを開催いたします。

●2018 年 10 月 6 日（土）14:00- 参加・観覧無料

展示室において、推薦者・アーティストによるギャラリートークを開催いたします。作品・制作について解説していただきます。（但し全員出席ではありません）お問い合わせは秋田県文化振興課まで。TEL 018-860-1530



秋田のアーティストをサポートしよう！ アートサポーター募集中！！

あきたの美術 2018 展をはじめ、秋田県が主催するアートイベントのお手伝いをしてくださる方（無償）を募集しています。アートに興味がある方、アーティストのお手伝いをしてみたい方、ぜひ御参加ください。お問い合わせは秋田県文化振興課まで。TEL 018-860-1530

絵画表現の多様性と可能性を
秋田のアーティストに見る！
アートとテクノロジー
現代美術の新たな試み

AAA 2018 Exhibition

あきたの美術 2018 展
2018.10.4 - 10.8
●Atrion 2F Public Gallery * Akita city kakadori 2-3-8
●open 10:00 - close 17:00
admission free
●gallery talk ・ 2018.10.6 14:00-
主催 ■ 秋田県観光文化スポーツ部文化振興課
お問い合わせ ■ TEL:018-860-1530 FAX:018-860-3880

●開館時間 10:00 - 17:00
●アトリオン 2F 美術展示ホール（秋田市中区中 2-3-8）
●ギャラリートーク・2018.10.6 14:00-
●お問い合わせ TEL:018-860-1530 FAX:018-860-3880

AAA 2018 Exhibition

あきたの美術 2018 展をはじめ、秋田県が主催するアートイベントのお手伝いをしてくださる方（無償）を募集しています。アートに興味がある方、アーティストのお手伝いをしてみたい方、ぜひ御参加ください。お問い合わせは秋田県文化振興課まで。TEL 018-860-1530



推薦者、アーティストによる ギャラリートークを開催いたします。

●2018 年 10 月 6 日（土）14:00- 参加・観覧無料

展示室において、推薦者・アーティストによるギャラリートークを開催いたします。作品・制作について解説していただきます。（但し全員出席ではありません）お問い合わせは秋田県文化振興課まで。TEL 018-860-1530



秋田のアーティストをサポートしよう！ アートサポーター募集中！！

あきたの美術 2018 展をはじめ、秋田県が主催するアートイベントのお手伝いをしてくださる方（無償）を募集しています。アートに興味がある方、アーティストのお手伝いをしてみたい方、ぜひ御参加ください。お問い合わせは秋田県文化振興課まで。TEL 018-860-1530

小川 恒雄 (彫刻) 「54」 (2018) (写真: 小川 恒雄)

阪 藤村 口口 (彫刻) 「54」 (2018) (写真: 藤村 口口)

中野 裕子 (彫刻) 「54」 (2018) (写真: 中野 裕子)

田中 久美子 (彫刻) 「54」 (2018) (写真: 田中 久美子)



AAA 2018 Exhibition